

授業科目	保育内容 環境					実務家教員担当科目	-				
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	金谷 めぐみ										
授業概要	・ 保育所における環境を通した保育の展開について講義を行い、アクティブラーニングを通して実践ができるようになる。 ・ 乳幼児の「環境」について理解すると共に、5 領域の他の領域との関連から見た「環境」について理解する ・ 保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得する ・ 保育の環境構成ができる										
授業形態	対面授業				授業方法	フィールドワーク プレゼンテーション					
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	・ 保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得し、自分の言葉で説明できる（DP1-2, DP2-1） ・ 「環境」にねらいをおいた保育が展開できる（DP3-1）										
理想的 レベル	・ 保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得し、専門用語を交えて説明できる ・ 「環境」にねらいをおいた保育について、適切な教材選択・作成を行い、保育の展開ができる										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験											
小テスト											
レポート			10								
発表（口頭、プレゼンテーション）			40								
レポート外の提出物			50								
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21617J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
分担表の作成 栽培計画の作成 プレゼンテーションの準備										1	
授業計画											
第 1 回	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する										
第 2 回	領域「環境」 5 領域の中での「環境」の位置づけについて解説する										

第3回	身近な環境 1 保育の中で関わる環境のうち、動物について紹介し、関わり方を考える
第4回	身近な環境 2 保育の中で関わる環境のうち、植物について紹介し、関わり方を考える
第5回	身近な環境 3 保育の中で関わる環境のうち、地域・社会について紹介し、関わり方を考える
第6回	身近な環境の体験 1 栽培体験・自然観察体験オリエンテーション
第7回	身近な環境の体験 2 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第8回	身近な環境の体験 3 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第9回	人的環境としての保育者 保育者の「人的環境」としての在り様について解説し、その重要性を知る
第10回	保育実践と保育内容環境【A グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。
第11回	保育実践と保育内容環境【B グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。
第12回	保育実践と保育内容環境【C グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。
第13回	身近な環境の体験 4 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第14回	身近な環境の体験 5 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第15回	まとめ 保育内容「環境」について、半期間の内容を振り返り、体系的知識として整理する
テキスト	『保育内容 環境』中央法規
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜指示する
課題に対するフィ	各課題への評価およびコメントを提示する

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	身近な生活環境(自然・社会・地域等)に関心を持ち、名称や事象についての知識を得ておくことと、積極的に関わろうとする態度が必要 常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと